


2025年2月末現在
組合員 4346人
出資金 1億6852万円
1~2月の動き
組合員 新規加入7人
脱退7人




第145号
2025年 3月10日発行
(奇数月発行)
〒503-0982 大垣市久徳町153-1
TEL 0584-92-3268
ホームページ seinou.coop
編集 機関紙編集委員会

 **協同組合の理念に基づくケア**

協同組合の理念に基づくケア
「する側、される側ではなく
ともに創っていくこと」

**組合員・医療・歯科・介護とともに、
誰もが健康で居心地よくくらするまち
づくりを行う。**



日本医療福祉生協連主催 組合員が主人公、組合員でつくる

地域包括ケア交流会

1月29日、日本医療福祉生協連主催の「組合員が主人公、組合員でつくる地域包括ケア交流会」が開催され、全国31生協から163人が参加し、西濃医療生協からは12人がオンライン参加しました。

交流会は、①お互いを気にかける「居心地のよいまち」を地域組合員・職員がともに考えて、一人ひとりの豊かな暮らしについて考える②医療生協らしい多様なつながりを振り返る、私たちが西濃医療生協は、診療所と介護事業を運営するとともに、組合員の支部や班をもち、フレイル予防など健康づくりや

たすけあいの活動を行っています。班会は、毎年参加者が増え続け、38班に毎月350人を超える方々が参加しています。また、支部や委員会での健康講座などへの参加、医療や介護、暮らしに関わる相談活動などを通して人と人のつながりが広がってきています。全国の医療生協との交流から学び、誰もが健康で居心地よくくらするまちづくりをめざしていきたいと思います。

せいりゅう

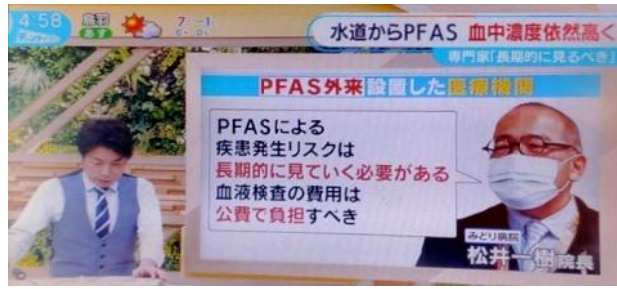
先日、悲劇的な事件が新聞に掲載されていました。80代の叔父が、40代の障害を持つ姪と共に無理心中をしたのです。週5日のデイサービス、週2日のヘルパーを利用し、社会と繋がっていたのに、なぜ事件は防げなかったのでしょうか▼私たちが所属する医療生協の理念は「健康をつくる 平和をつくる いのち輝く社会をつくる」です。この理念のもと、地域住民と医療や福祉の専門家が協同して、地域まるごとの健康づくりを推進することをめざしています。この健康づくりの中には、このような悲劇を事前に防ぐためのセーフティネットとしての役割があります。日本の高齢化は進み、要介護者を支える家族の年齢も上がっています。介護を担う人の健康状態が悪化し、共倒れのリスクも高まる中で、地域に根差すことを理念としている医療生協ができることは何でしょうか▼まず、気軽に相談できる場をつくること

が欠かせません。「誰にも頼れない」「この先どうすれば…」と一人で悩んでいる介護者は多くいます。医療生協の相談窓口や、地域包括支援センターを活用し、専門家のアドバイスや、同じ立場の人と交流を通じて孤立を防ぐことが大切です▼また介護者が休めるレスパイト（介護者の休息）の充実も必要です。介護は24時間続くこともあり、疲れがたまると心身ともに限界が訪れます。デイサービスやショートステイ、ケアマネジャーなどと連携し、情報を共有して「休める場所・時間」を提供できれば、介護する側の負担も軽減することができます。▼また介護制度の活用を支援し、改善を求めていくことも医療生協の役割です。介護の現場で見えてきた課題を行政に伝え、制度の改善を求めることも大切です。「老老介護」や「老障介護」は、誰にとっても他人事ではありません。医療生協が地域と手を取り合い、「一人で抱え込まない」介護の仕組みを作ることで、支え合える社会を築いていきたいものです。

看護師長 水島弘子

岐阜民医連

各務原市のPFAS汚染で2回目の検査を実施
血液検査を受けた住民の9割が指標を上回る



岐阜民医連・松井一樹会長（みどり病院院長）が追跡調査結果・行政への要望を発表< CBC 放映チャント >

しずさと診療所はじめ介護事業所が加盟する岐阜民医連（民主医療機関連合会）は、一昨年10月に三井水源地域を中心に住民131人のPFAS血液検査を実施し、高濃度の暴露の実態が明らかになりました。さらに、1年後の追跡調査として、昨年末に住民83人に2回目の検査を実施しました。

その結果を2月17日に公表、PFAS血中濃度はほとんど減少せず、93%の方が米国アカデミーのガイドラインを超え、平均でもその3倍を超えている実態が明らかになりました。岐阜民医連事務局長の土井さんは「行政による血液検査の実施や、血液検査への費用助成、住民の疫学的健康調査の実施とともに、岐阜基地への土壌検査を含む汚染源の究明を申し入れましたが、国の指針がないとの理由でその責任を放棄し続けています」とし、あらためて、公費負担による血液検査および1年ごとの追跡調査の実施、健康への影響など大規模な疫学調査の実施、小中高校への浄水器の再設置、汚染源の究明と除染を進めるための岐阜自衛隊基地土壌検査の実施などを岐阜県に要望する声を出しました。

第10回組合員活動交流集会のご案内

日時 3月22日（土）
13時30分～16時30分

場所 宇留生地区センター・ホール

今回は、「患者・利用者の健康と暮らしを事業・組合員活動で支える」をテーマに、リハビリテーションとケアマネジャー

の事業活動、NPO西濃たすけあいと支部活動の報告を行います。その後グループ討議を行い、活動を交流します。どなたでも参加いただけますので、希望される方は事前にお申し込みください。

申込みは組合員活動部・松岡
電話 090 1989 4254

介護センターしずさと

新たな入浴設備に入れ替え

組合員の皆さまからの温かい増資のおかげで、2月上旬介護センターの特殊浴槽（障害のある方でも安心して入浴できる設備）を新しくすることができました。

以前の浴槽では全身性の麻痺や拘縮のある長身の利用者が快適に入浴するには、機能も大きさも不十分で、介助する職員の数を増やすなどして対応する必要がありました。今回の導入により、多くの方々に、より快適に入浴していただくことができるようになりました。

また、浴槽の機能や性能も以前のものより大幅に向上しており、入浴用の座椅子の機能向上、給湯時間の短縮や使用する水量の削減なども図られ、職員にとっても事業所にとっても良い、まさに「三方よし」の設備更新となりました。

引き続き、利用者様、組合員の皆様、地域の方々にとって安心・信頼できる、そして楽しくご利用いただける事業所づくりに職員一同努めて参ります。出資金増資のご協力もお願いいたします。

専務 中村英洋



職員が浴槽に入り、座椅子の機能や広さを体感しました

西濃社会保障推進協議会

西濃圏域一市7町との 懇談会を開催

西濃社会保障推進協議会（社保協）は、国保・介護・福祉の改善をめざして、毎年自治体訪問を行ってまい

す。今年も2月から開始し、現在、大垣市と大野、垂井、神戸、安八、揖斐川、池田、輪之内の7町との懇談を行いました。

今回、新たに確認できたことは、後期高齢者医療の被保険者には、マイナ保険証の有無にかかわらず、「資格確認書」が申請なし

に発行されるようになったことです。

地域の公共交通施策については、従来の巡回バスから委託タクシーまたはデマンドバスによるドアツードアへの移行が引き続き進んでいます。行政には高齢者障がい者の外出支援拡充を求め声を伝えました。

加齢性難聴者への補聴器購入補助は海津市、輪之内町、安八町、神戸町が実施しており、未実施の市町に検討を要望しました。

今後、海津市、関ヶ原町、養老町と懇談会を行ってまいります。

社保協事務局 松岡和彦

健康委員会

健康チャレンジ

生活習慣の改善で健康づくり
ご家族・友人と一緒に
今からでも取り組みましょう

チャレンジ期間
2025年2月～3月

- * 4月に、お近くの役員か診療所の受付にカードをご提出ください。
- * 参加賞は歯ブラシです。ファックスでご提出の方は5月のげんき配達の際に参加賞をお渡します。
- * カード提出期限は4月末です。

お問合せ 本部 電話 0584-92-3268
ファックス 0584-93-1169

しずさと診療所

リハビリテーション科

作業療法士 寺倉恭子

安八郡広域連合主催講演会

「フレイル予防はまさに
まちづくり」に参加して

2月15日安八町中央公民館にて、フレイルという言葉の名づけ親であると同時に、全国にフレイルサポーター事業を広めている飯島勝也先生の講演【健康長寿と幸福長寿の両立を目指して〜フレイル予防はまさにまちづくり〜】が開催されました。

「フレイル」とは、加齢とともに体力や気力が弱まっている状態です。「フレイルについては、今日の資料やインターネットで各自調べてください。そんな話をしに来たのではありませんん！」という第一声から始まった講演は、フレイルサポーター事業を行っていく上での心構えを中心とした内容でした。以下、簡単にまとめます。

・フレイルサポーター事業とは、自治体・トレーナー（専門職）・フレイルサポーター（住民）で構成されたチームでフレイルチェ

クを行う事業

・目指すのは、健診的なことではなく、健康について共に気づき、高め合い住民主体のつながりや関係を築いていくこと

・サポーターは、測定補助員でない。主体的に参加し仲間を作り自分自身も元気になっていくことを目指している

・チェックを受けていた人が、参加を続けるうちに仲間意識が芽生え、サポーターになって参加することも多い

・事業としての捉え方が強い行政主体の地区は、住民側もやっでもらっている意識が強く、不満が多い。フレイルチェックの項目を省いたり、面倒というような気持ちが漂う地区のフレイルサポーター事業は衰退していく

・大切なのは、行政に頼ったままではなく、自分たちの町は自分たちで作るのだというパワー。周りが負の気持ちを漂わせていても、その状況に限界を感じ新しい風を入れたと感じる人もいる。そうした人同士で仲間を作って活動していけば良い

今回の講演を拝聴し思い浮かんだのは、西濃医療生協での班会やサロンでの取り組みでした。地域作りにもつながるこれらの活動にお子さんやお孫さんも一緒に参加することで、新しい風が吹き込まれるのだからなと想像しました。私も作業療法士・防災士として少しでもお役にたてたらと思っております。





健康委員会

好評につき2回目のスマホ教室を開催

前回11月27日は37人の参加でした。お断りした方も多かったため、今回2月12日に同じ内容で2回目を開催しました。寒期中、24人の参加者で講師2人を囲んでワイワイ行うことができました。

QRコードの読み取りとLINEの友だち追加を教えていただき、あっという間の1時間でした。Web予約の仕方とが必要ですよ

ネ。まだまだスマホでできることはいっぱいあります。とにかくスマホを使ってみるのが一番です。

健康委員会では3回目にも取り組みたいと思います。各支部でも取り組んでみてください。

今回講師の傍島さんは、綾里地区センターと荒崎地区センターで月2回午前中講師をされています。興味のある方は健康委員会までお尋ねください。

齋藤葉子

赤坂支部 健康サロン

1月16日青島地区センターにて健康サロンを行いました。今回のサロンは毎年1回行っている「笑って、動いて、認知症予防」講座の5回目です。講師はいつもの田邊三千代さんで、17人の参加者でした。

腸体操と題して次のような話がありました。便秘から病気へと進むので、腸の動きを良くしストレスを溜めない、睡眠をよくとる、食物で善玉菌を増やし腸内

の酸性化を図るなどです。

また、手、足、身体を動かす、頭を使うなど笑いに包まれて楽しい認知症予防講座でした。初めての参加者もあり、これからも引き続きサロンの充実を図っていきたいと思います。

運営委員が「苦労さん会」

支部運営委員さんの年間の活動に感謝して「まんじゅどーむ」で「苦労さん会」を行いました。

理事を含め11人の参加で日頃の活動を通して、その



思いや苦労、これからの仲間作りなどを話し合い交流を図りました。

宇津時雄

不破支部

お菓子教室に参加して

2月16日垂井町のワイワイプラザで毎年恒例のお菓子教室が開かれ、講師の長谷川由美子さんを含め27名の参加者で、信州名物のおやきを作りました。

私はおやきが大好きなので、支部で年間計画を立てる時に野沢菜を育てるところからやりましょうかと提案し、藤壇はるみ



さんと二人で栽培することになりました。7月末の暑い中一回目の種を蒔きネットをかけたのですが、虫が入ってしまい育ちませんでした。2回目は畑も替え9月に蒔きました。時期が遅いかと思い、牛ふんを入れ込みました。温暖化のせいかわ、今度はびっくりするくらい大きく成長したので12月8日に収穫し、山の水で洗って10%の塩で漬けました。教室の前日には流水で塩抜きをしました。

当日のおやきは2種類で、ごま油で炒めて味付けした野沢菜入りと、切り干し大根、人参、油あげを炊いたお惣菜入りでした。デザートのみかんゼリーも作りました。

今回、ワイワイプラザの調理室を初めて使用しましたが、不慣れで手間取ってしまい、食べる時間がなく持ち帰りになりました。その場でみんなと一緒に味わうことができなかったのはちょっと残念でした。

皮には米粉が使われているのもちっとしていて、野沢菜も切り干し大根も素朴な味とてもおいしかったです。

岡田秀子



大垣西支部

初の健康マージャン大会
を開催

月1回の健康麻雀班会を
1月9日は「健康マージャン
ン大会」として行いました。
参加費500円をいただき、
優勝賞品と参加賞を準備し、
4卓（16名）で1回戦を行
い、それぞれの卓1位の人
で優勝戦を行いました。優
勝者は、初参加の棚橋さん
でした。いつもより点数に
こだわった、緊張した麻雀
大会になったと思います。



問合せ先 川村 090-9178-0913

健康麻雀班会は、毎月第
1木曜日13時から組合員活
動室で行っています。どな
たでも参加OKです。



診療所送迎委員会

恒例の「一泊旅行」 蒲郡温泉の旅

送迎委員会は、しず
さと診療所の患者送迎
を担っている運転手の
懇親を深めるために、
毎月の活動手当の一部
を積み立て、毎年一泊
旅行を行っています。
今年は、16人が参加
し1月25日・26日に蒲
郡へ出かけホテルでの
懇親会のほか、イチゴ
狩りや竹島水族館見学
などを楽しみました。

神戸支部 お茶班会

初釜の会に参加して



1月12日、私たち5人は控室で初
釜の心得や濃茶の作法などを聞き、
大福茶をいただきました。「さあ、
始めますよ」の声で用意されていた

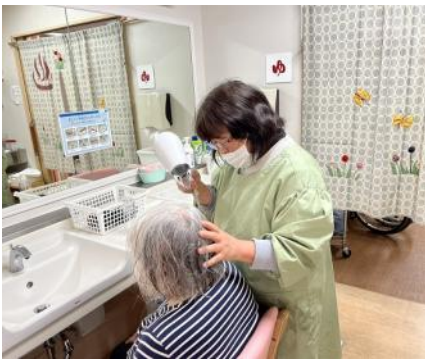
草履を履いて待合の縁に腰を掛け、
亭主が鳴らす銅鑼を待ちました。柔
らかな音色が響き、それを合図に蹲
踞（つくばい＝手水鉢）で口と手を
清め、正客を先頭にして躡口（にし
りぐち）から茶室に入りました。床
の間の初釜の掛け軸と生け花を拝見
し、本日の「会記」に目を通しまし
た。炉に懸かっている釜や棚なども
拝見し、自席について静かにお点前
が始まるのを待ちました。静粛とも
いふべき瞬間でした。

中で、正客から順に花びら餅と濃茶
をいただきました。その美味しさに
びっくりしました。
中立ち（休憩）の後、また銅鑼が
鳴って席入りし、今度は私たちが順
番に薄茶のお点前をしました。周り
の方々の優しい眼差しに見守られ、
手順に少々の間違いがあっても楽し
く薄茶を点てることができました。
お茶の後は懐石料理をいただきました。
おしゃべりに花が咲き、笑み
がこぼれました。

医療生協の班会でお茶が学べて、
初心者一人としてとても良い体験
をさせていただいています。
追立フエミ

ボランティア委員会

しずさとデイサービスの
ホールボランティアに参加して



ボランティアを始めて3か月。
私の生活の一部となって楽しく有
意義に過ごさせてもらっています。
何となく疲れているなと思って
出かけても、利用者さんに「あり
がとう」と優しい声をかけてもら
ううちに自分も元気になっていき
ます。

「ありがとう」は人と人をつな
ぐ素敵な言葉。ボランティアは、
誰かのためだけでなく、自分のた
めになっています。皆さんと明る
く楽しく過ごせる空間、しずさと
デイサービスは本当に素敵な場所
です。
K・M



読者の声

祝ノーベル平和賞受賞
「平和について考える
つどい岐阜」に参加して

この「つどい」は、西濃医療生協も参加団体の「被爆者の願いを継承する岐阜県民の会」と「岐朋会」（被団協の岐阜県原爆被爆者の会）の主催で、1月12日・13日に、円徳寺（岐阜市）で開催され、両日とも約80人の参加がありました。

会場の壁には国連で紹介された原爆パネル40数枚が張り出され、壇上には岐阜県内の被爆者で亡くなられた方たちの遺影

が飾られ、その方たちに見守られる形で開催されました。

フォークグループやギター弾き語りの演奏から始まり、岐阜市教育長の水川和彦さんと元岐阜市教育長で現在継承する会の代表世話人の安藤征治さんからノーベル平和賞受賞の意義とお祝いの言葉がありました。

被団協事務局長の木戸季市さんは「オスロでは街を挙げての日本被団協の受賞を祝うたくさん飾り付けやおめでとつ声掛けなど、その歓迎ぶりにはホテルでもどこでもVIP待遇で日本に帰りたくないと思ったほど」と笑いも交えながら報告

され、「ノーベル平和賞受賞により今後さらに核兵器廃絶を推し進める闘いに、生きていく限り力を注ぐ」と決意を新たにしました。自由で平和な未来をつくるためには被爆者や、2世・3世だけでなくもっと多くの人たちを引き継いでもらいたい」と話されました。

午後からは広島・長崎の被爆者の証言とビデオ上映がありました。人はあまりに恐ろしい光景に出会うとそのことを記憶から消し去って自分を守る防衛反応がはたらくという話もあり、人として生きることも死ぬこともできなかった被爆者の苦しみをも、もう誰にも味合わせたくないという切実な思いを聞くことができました。

これがまさに被団協が結成以来訴えてきた「再び被爆者をつくるな」「核兵器なくせ」「原爆被害への国家補償」であり、一人ひとりの思いの原点を知ることができました。

会場発言として、被爆2世の今井さんは「被爆者は原爆だけでなく原子力発電所からも生まれていくこと、被ばくにより傷ついた身体、遺伝子は世代を超えていく可能性が高いことが被爆者の継続栽培からも推測される」と話されました。

中村由美子

大垣西支部 楽らく広場

テーマ 「脳いきいき 老化予防」
日にち 3月29日(土) 13時30分～15時
場所 組合員活動センター会議室
講師 長谷川賢治さん(理学療法士・鍼灸師)
問合先 齋藤 090-4860-4505

神戸支部 お花見

日にち 4月2日(水) 11時～14時
場所 ふれあいセンター南作業所
今年もゲームや脳トレ、歌などで楽しみます。
問合先 古橋 080-1596-3792 正岡 090-5453-4283

不破支部 たるいの泉マルシェ

日にち 3月15日(土) 10時30分～15時
場所 専精寺
西濃医療生協はブースを設けて、健康チェック、介護相談、手作り小物の販売など行います。
問合先 伊藤 0584-22-5719

赤坂支部 健康サロン

「くすりの疑問にお答えします」

講師 谷 知彦さん(ファルマネットぎふ薬剤師)
青山栄司さん(同 薬剤師)
・かかりつけ薬剤師って何をしてくれるの?
・くすりに関する質問にお答えします
・サプリメントについて

日にち 3月13日(木)13時30分～
場所 青墓地区センター研修室

お花見ハイキング

日にち 3月29日(土)10時～
持ち物 弁当(散策後食事をしながら交流)
場所 曾根城址公園駐車場集合
曾根城址公園より大島堤の桜並木をウォーキングして桜を楽しみます。皆さんの参加をよろしくお願ひします。

問合先 宇津 0584-91-2379
玉井 0584-91-7422
高瀬 0584-71-4409

生命(いのち)を生みだす母親は 生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第67回 岐阜県母親大会 in 可茂 戦後80年！ 対話で築こう、平和な社会

日時 6月22日(日)
10時～ 分科会
13時15分～15時45分 全体会・記念講演
会場 美濃加茂市文化会館「かも～る」
美濃加茂市島町2-5-27

【記念講演】

「日本の食糧危機はもう始まっている
～食糧自給率向上は平和への道～」(仮題)
講師：鈴木宣弘さん
(東京大学大学院特任教授・名誉教授)

主催：第67回岐阜県母親大会実行委員会
岐阜市徹明通7-13 (教育会館)
TEL・FAX 058-242-9816

無料

なんでも
生活相談

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・
親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医
療事故、消費者被害、損害賠償など。提携
弁護士がご相談をお受けします。

日 ち： 4月10日(木) 5月15日(木)
場 所： しずさと診療所内

○相談時間：午後2時～3時 ※1件あたり30分
○事前申込みが必要です。本部 0584-92-3268

診療所・介護事業所の草取りボラに 皆さまのご協力をお願いします

日 ち 3月23日(日) 雨天の場合3月30日(日)
※集合時間は午前8時
4月27日(日) 雨天の場合5月11日(日)
※集合時間は午前8時
集合場所 しずさと診療所
問合先 正岡礼子 0584-27-5957

ウォーキング

日 ち 3月24日(月) 雨天3月31日(月)
行き先 加賀野の名水百選と桜並木(大垣市)
大垣市総合体育館から北へウォーキングし、
桜並木のソメイヨシノを愛で八幡神社(加賀
野城跡)に湧く名水百選で喉を潤します。
集合場所・時間 しずさと診療所 9:00
大垣市総合体育館 9:30
持ち物 弁当、水筒、雨具、防寒具、運動靴
会 費 200円+交通費200円

日 ち 4月21日(月) 雨天4月28日(月)
行き先 中山道垂井宿(垂井町)
南宮大社石鳥居、垂井の泉、旅籠「長浜屋」
「亀丸屋」、垂井城跡(平塚為廣)、八重垣神社
(西町山車蔵)、垂井追分道標など安藤広重の
版画「垂井宿」をウォーキング
集合場所・時間 しずさと診療所 8:30
持ち物 弁当、水筒、雨具、運動靴
会 費 200円+交通費200円

問合せ 杉野茂樹 080-9832-3399
梅村民雄 090-4232-9057

山楽会

日 ち 3月10日(月) 雨天中止
行き先 百ヶヶ峰(岐阜市・標高418m)
百ヶヶ峰の北西三田洞からの周回コース
長良川対岸に金華山、濃尾平和を楽しむ
健脚度 初級の上 歩行時間 3.5時間
集合場所・時間 しずさと診療所 8:00
持ち物 弁当、お茶、雨具、防寒具、杖など
会 費 200円+交通費400円

日 ち 4月14日(月) 雨天中止
行き先 池田山(池田町・標高924m)
池田山中腹のあずま屋から出発し約300m
登ります。「池田の森」「なつつばきの森」
を探訪
健脚度 中級の下 歩行時間 3.5時間
集合場所・時間 しずさと診療所 8:00
持ち物 弁当、お茶、帽子、雨具、杖、登山靴
会 費 200円+交通費200円

問合せ 梅村民雄 090-4232-9057
杉野茂樹 080-9832-3399

※日程は変更する場合があります。詳細は、問合先までお尋ねください。

一緒に働く仲間をご紹介いただけませんか？

お知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願いします！

- ◎**医師** 在宅医療に関心のある方
- ◎**訪問看護師** 常勤または非常勤
- ◎**非常勤の介護福祉士・介護士**
 デイサービス・ショートステイなどの介護職員
- ◎**非常勤 理学療法士 作業療法士**
- ◎**送迎運転手** (有償ボランティア)
 診療所での患者送迎運転手
 詳細は西濃医療生協 中村まで
 電話 0584-92-3268

宇留生支部 うるうてくてく(歴史散策)

日にち 3月30日(日) 9時30分～12時 ※雨天決行
 散策地 美濃国府跡

垂井町府中に国府があったとされ、発掘された多くの遺跡から、古代美濃国が政治・経済・文化の中心を担っていたことが分かります。ボランティアさんから興味深いお話を聞きながら当時に思いを巡らせたいと思います。

集合場所・時間
 ワイワイプラザ垂井(旧垂井町役場)
 駐車場 9時15分集合
 参加費 無料 持ち物 お茶など
 問合・申込先 宮川 090-7954-3423
 堀 090-7314-2505

健康委員会 防災講座

いざという時 何をしたらいいの？
 ～発災直後 困らないために～

- この他
- ・エコノミー症候群や脱水・感染を防ぐために
 - ・災害関連死を少しでも減らすために

日にち 4月26日(土) 13時30分～15時
 場所 組合員活動部会議室
 講師 寺倉恭子さん(防災士・作業療法士)
 しずさと診療所リハビリテーション科
 ※詳しくは本紙折込みチラシをご覧ください。

スクエアステップ体験会

日にち 4月10日(木) 13時30分～15時
 場所 安八町中央公民館 2階和室
 問合・申込先
 組合員活動部 松岡 電話 090-1989-4254
 ※詳しくは本紙折込みチラシをご覧ください。

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

日にち 3月12日(水) 19日(水) 26日(水) 31日(月)
 4月15日(火) 23日(水) 30日(水)
 5月7日(水)
 ※それぞれ12時半プレー開始
 場所 三城公園 ソフトボール場
 問合・申込先 河村秀一 090-5450-3227

しずさと診療所 診療案内

内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

		月	火	水	木	金	土
8～9時	検査	柄澤	柄澤	—	柄澤	柄澤	—
9-12時	第1診	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※2
	第2診	塩澤	阿川	粕谷	岡野	粕谷	—
	第3診	—	—	—	—	※1	—
14-17時	訪問診療	柄澤 塩澤	柄澤	柄澤 粕谷	柄澤	柄澤	
17-19時	第1診	塩澤		泉		柄澤	

- ※1 **金曜日の第3診察室**
 柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。
- ※2 **土曜日の診察**
 第1・3土曜は柄澤医師が担当します。
 第2土曜は松井医師が担当します。
 第4・5土曜は小林医師が担当します。
- エコー検査・栄養指導のご案内**
 検査技師による心・頸動脈エコー(毎週水曜日)
 管理栄養士による栄養指導(第2火曜・第4金曜)
 ※診察時にご相談ください。

<医療・介護のお問い合わせは>

- ▼しずさと診療所
 診療 電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169
 リハビリ 電話 0584-93-1179 FAX 0584-93-1169
 〒503-0982 大垣市久徳町153-1
- ▼デイサービスひのき
 電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311
 〒503-0981 大垣市松町706

- ▼介護センターしずさと
 電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151
 〒503-0981 大垣市松町1452
 ・介護支援センター 0584-93-1171
 ・デイサービスセンター 0584-93-1172
 ・訪問看護ステーション 0584-93-1173
 ・ショートステイ 0584-93-1175
- ▼しずさと介護支援センター不破事業所
 電話 0584-71-7311
 〒503-2100 不破郡垂井町地蔵1-105